

「品川キャンパス国際混住寮(仮称)の正式名称決定」及び 「名称募集の賞状及び記念品の授与式の開催」について

■国際混住寮(仮称)の正式名称決定について

先般、本学の学生・教職員を対象に「品川キャンパス国際混住寮(仮称)」の名称募集(募集期間 2025 年 6 月 19 日～7 月 16 日)を行い、163 名から日本語名称案 288 点、英語名称案 254 点の応募がありました。

数多くの名称候補案の中から、国際混住寮(仮称)名称選考委員会における選考を経て、正式名称が「**青鷹寮(せいようりょう)**」に決定しました。

○正式名称

日本語名: 青鷹寮(せいようりょう)

英語名: SEIYO DORMITORY



せいようりょう
＜青鷹寮の完成イメージ図＞

○選定理由・名称提案者による提案理由

①選定理由

海や本学を連想させる「青」と、本学の船舶や施設の名称として伝統的に使用されてきた「鷹」という単語の組み合わせが本学らしさを象徴していること等を評価し、選定しました。

②名称提案者による提案理由(複数の提案者の提案理由を基に要旨を記載しています。)

- ・本学の元練習船「青鷹丸※」が名称の由来。練習船の世代交代に伴い、令和3年に練習船としての仕事を終えましたが、その名を新しい寮の名前としてこの先も東京海洋大学の歴史に残したいと思いました。
- ・「青」という字には地球・全世界という意味をかけており、青い星地球の海洋の発展を担う海洋大生の寮、青い星地球の誰もが歓迎される国際的な寮という意味が込められています。また、「鷹」という字に(青鷹寮建設に伴い、令和8年3月末に廃止となる)朋鷹寮の伝統を継ぐという意味をかけており、本学の歴史を重んじ伝承する寮という意味が込められています。

※昭和62年から令和3年まで運航していた船舶職員の養成教育と海洋学・水産学の実習を目的とした練習船。

■名称募集の賞状及び記念品の授与式の開催について

令和7年10月1日(水)に学長室にて賞状等の授与式を行いました。授与式には、「青鷹寮」を提案した最優秀賞受賞者5名のうち3名が参加し、井関学長より賞状と目録が授与されました。

閉式後に受賞者と学長等との懇談の場が設けられ、学長からは素晴らしい名称が提案されたことへの感謝の意が伝えられました。受賞者からは、名称に込められた想いや由来の一つである「青鷹丸」にちなんだエピソード、来春完成予定である「青鷹寮」への期待などが語られ、終始和やかな雰囲気での懇談会となりました。

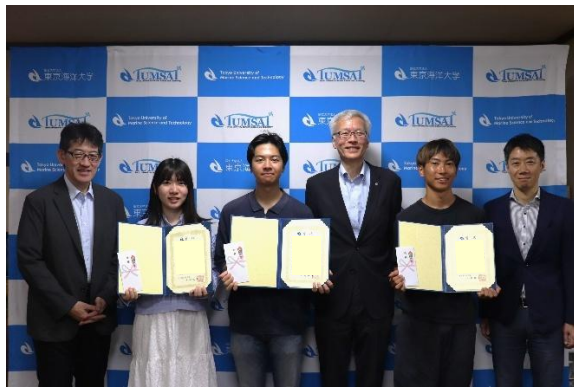
○受賞者

【最優秀賞】

- ・大学院 海洋科学技術研究科 博士前期課程 海洋資源環境学専攻 1 年
- ・海洋生命科学部 海洋生物資源学科 4 年
- ・海洋生命科学部 海洋生物資源学科 2 年
- ・海洋工学部 海事システム工学科 2 年
- ・海洋科学専攻科 海洋船舶運航システム学専攻

【優秀賞】

- ・事務職員



【井関学長(中央)、南理事(左)、村上理事(右)と受賞した学生】



【懇談会の様子】

■青鷹寮(せいようりょう)の完成イメージ(参考)

<青鷹寮の完成イメージ図>



【外観①】北西方面から見た建物



【外観②】南西方面から見た建物



【交流ラウンジ】1階 中庭と一体感のある開放的なスペース



【コミュニティプラザ】見通しの良い開放的なスペース

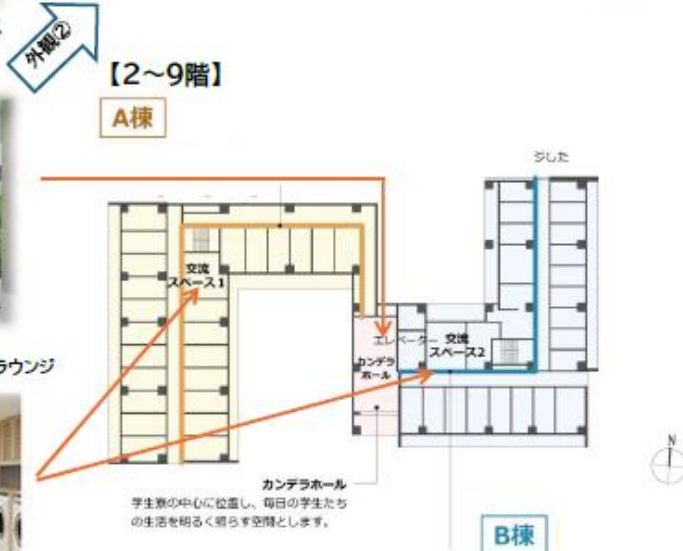


【カンデラホール】2～10階 南側の眺めを臨めるビューラウンジ



【交流スペース】2～9階 居住者が歓談できるスペース

※上記イメージ図等については、設計変更等により実際と異なる場合があります。



- 延床面積:10,170.72㎡
- 構造・階数:鉄筋コンクリート造・地上10階建て
- 総戸数:約350戸